

IRを用いた学長の強固なリーダーシップの下の3つの大きな取組

I. 教育改革に向けた意識改革
(対象：全教職員)

入口と出口を見つめ教職協働を強化する
【授業公開週間/FD・SDウィーク】

授業公開週間 (=FD・SDウィーク) 全員参加
高大社接続の視点からの公開授業と授業協議会の実施
全教学IRのデータを用いて質保証に関わる
全学と学部FDの強化 (GPAの厳正化)
教育奨励賞や授業改善記録を
教員の教育業績評価とし人事考課に活用
授業外学修時間の拡大
ラーニングコモンズの充実

教員のファシリテーション力向上
アクティブ・ラーニング型授業の強化

ディプロマ・ポリシーに
基づく教育活動の加速



「地域協働による教育」

地域に出向き地域の課題を解決する
取組のなかで、DP「統合・働きかけ」
を育成する。現実課題に向き合うこと
は、学生のキャリア形成にとって、
大変重要な役割を果たす。

II. 多面的評価指標を外部と共同開発
(対象：全学生)

DPに基づく多面的評価指標

ポリシーの分類	具体的な能力	評価方法	メタ・コンピテンシー (評価方法)
【知識・理解】	専門分野に関する知識	GPA	【統合・働きかけ】 左記の諸能力を内的に統合し、 周囲の文化・社会・自然・人間 などに外的に働きかけていく能力
	人類の文化・社会・自然に関する知識		
【思考・判断】	対課題 論理的思考力		
	課題探求力		
【技能・表現】	対人 表現力	ルーブリック評価 (フィールドである 地域と協働して開発)	パフォーマンス評価 (若手社会人等を含む学外の 人材と協働して開発)
	コミュニケーション力		
	協働実践力		
【関心・意欲・態度】	対自己 自律力	倫理観	
	倫理観		

学修成果の可視化
ディプロマ・サプリメント
学生にわかりやすい成績を表示
学修ポートフォリオ



出口の課題を徹底的に検証し分析

- 卒業生とその就職先等への調査と検証
(インタビュー調査と質問紙調査)

ルーブリック評価指標

- パフォーマンス評価指標の開発
(社会に近いオーセンティックな評価軸で学生を視る)
若手社会人を含む外部者と協働し開発

III. 学生の成長を地域と社会と協働して検証する
(対象：全学生と卒業生)

学生支援型の形成的評価の設定

- 【学生支援力強化】
= 学生総合支援センターとの連携
- 年度末の個別面談の実施
- 成績不振者や修学支援を必要とする学生の
早期発見システム
- リフレクション・セメスターの設定
(キャリア形成に向けた支援強化)

外部評価委員会：入口 (高大接続) と出口 (大社接続) を意識した構成

- | | |
|---------------|----------------|
| 高等学校教員 | 卒業生 |
| 県教育委員会/教育センター | 在学生の保護者 |
| 高知県内の卒業生就職先企業 | 東京に本社を持つ卒業生就職先 |
| 経済同友会/商工会議所 | 高等教育の有識者 |

内部体制：自己点検評価

- 大学教育再生加速プログラム事業実施本部
- 教学IR…大学教育創造センター内
(本事業のデータの一元管理と検証)
- 全学IR…IR・評価機構